TUS ALUMNI

理窓会短信

vol. 07
2026. 10. 15
文責：伊 藤 稔

硤合憲三先生ノーベル化学賞受賞おめでとうございます

2026 年 10 月 7 日（水）午後 6 時 45 分（日本時間）スウェーデンのストックホルムにおいて本年度ノーベル化学賞の受賞者が発表されました。この栄えある受賞者の一人として、東京理科大学名誉教授の硤合憲三先生が選ばれました。この賞では日本人として 10 人目となります。さらにノーベル賞関連では本学関係者として 3 人目の栄誉となります。硤合先生は、1981（昭和 56）年 4 月、31 歳の若さで本学理学部の専任講師として奉職されました。以来、2016（平成 28）年に定年を迎えられるまでの 35 年間にわたり、本学を拠点として研究と教育に尽力され、その長年にわたる研究成果が世界的に高く評価され、今回の受賞に結実しました。在職中多くの学生や同窓生が先生のご担当された関門科目の講義やゼミを通じて学びその薫陶を受けたことと思います。

硤合先生のたゆまぬ探究心と研究への情熱は、学生たちに学問の奥深さと科学の可能性を伝えるとともに本学の研究教育の発展にも大きく貢献されました。2017（平成 29）年には東京理科大学名誉教授に就任され、現在は栄誉教授としても本学と深いご縁を結ばれています。12 月 10 日（木）に予定されているノーベル賞授賞式を心待ちにするとともに、硤合先生の長年にわたるご研鑽が世界に認められたことを、同窓生の一人として、また本学関係者として、心よりお祝い申し上げます。

【1】　常務委員会：10 月 14 日（水）午後 6 時より、ポルタ 7 階第 2 会議室にて、対面および Zoom による併用形式で開催致しました。また、常務委員会に先立ち、10 月 7 日（水）午後 6 時より正副会長会議を開催しました。同会議開催中に硤合憲三氏ノーベル化学賞受賞のニュースが飛び込んできました。

【2】　母校トピックス 2026 年 8 月～

1．硤合憲三栄誉教授ノーベル化学賞記念ページを公開

生成物そのものが触媒となって同じ反応を促進する「不斉自己触媒反応」を世界で初めて発見しました。この反応は「硤合反応」として知られ、生命を構成する分子がなぜ片方の「鏡像」に偏っているのかという、生命の起源にも関わる謎の解明につながる研究です。https://www.tus.ac.jp/about/nobelprize2026/index.html

2．東京理科大学・野田市・流山市との連携プログラムによる「地域防災人材育成講習会」

2026 年 9 月 26 日（土）に、本学野田キャンパスにおいて、野田市・流山市と本学との連携プログラムによる「地域防災人材育成講習会」の第 2 回を開催しました。https://www.tus.ac.jp/today/archive/20261008_0369.html

3. サイエンスフェア「みらい研究室～科学へのトビラ～」の開催について

2026 年 10 月 18 日（日）に、本学の学生団体が理工系全般にわたるさまざまな実験などを行い、幼稚園児、小学生を対象に科学の楽しみを知っていただくイベント「みらい研究室～科学へのトビラ～」を神楽坂キャンパスにて開催します。https://www.tus.ac.jp/today/archive/20261008_1742.html

【3】2026 年度今後の支部総会開催の予定；詳細は各支部 HP でご確認ください。

(10/17)静岡中部・秋田・茨城・山梨　(10/18)信州・島根 (10/24)大分　(10/31)新潟 (11/7)鹿児島
(11/14)岩手 (11/15)長崎 (11/21)宮城 (11/22)福岡 (11/28)山形・群馬・和歌山　(12/13)宮崎
(1/24)埼玉新年賀詞交歓会 (1/30)神奈川新年賀詞交歓会・熊本 (2/6)高知 (2/20)三重 (2/21)佐賀 (2/27)福井

【4】その他

・11 月 1 日(日) ホームカミングデーはどなたでも参加可能ですが事前登録は現在受付中 →申し込みはこちら
・東京理科大学の理大祭（神楽坂・野田・葛飾）は 11 月 20 日と（金）21 日（土）10 時～16 時の両日
・新年茶話会 2027 年 1 月 9 日（土）13 時 30 分から→申し込みはこちら